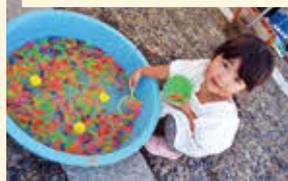


10/12~14

第28回 松江市民文化祭



さんびる文化センタープラバホールで、松江市民文化祭を開催しました。文化団体による「作品展示」や、工作・バッテリーカーなどを楽しむことができる「わくわく広場」などにたくさんの人が来場し、芸術の秋を満喫しました。

11/3



🔥 消防フェスタ2024開催 🔥

消火器体験や消防車乗車体験を通して火災予防について考えることを目的に、北消防署、東部分署の2会場で「消防フェスタ2024」を開催しました！

松江市ホームページ



防災メールに登録しましょう。QRコードを読み取って、空メールを送ってください。



商標について：QRコードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

松江まちかど

ダイアリー

市報 松江 目次

- 02 消費生活で困ったことはありませんか？
- 04 松江まちかどダイアリー
- 05 松江市長 上定昭仁の「上を向いていこう」/まいぶんTIME
- 06 食べごろ松江/シリーズ松江の匠
- 07 松江の皆さんこんにちは。/マイレポート
- 08 令和7年度 松江市国民健康保険（国保）人間ドック・脳ドック受診者の募集
- 09 ガス事業譲渡先の選定を進めています
- 10 12月4日～10日は人権週間です
- 11 あなたのお酒の飲み方は・・・大丈夫！？
- 12 12月3日～9日は「障がい者週間」です/中海・宍道湖・大山圏域市長会通信
- 13 後期高齢者医療保険12月2日以降の保険証の取り扱い/「松江市行財政改革」令和5年度の取り組み結果
- 14 大雪・凍結の備え
- 16 市職員の給与・定員管理などを公表します
- 18 令和6年度（9月末現在）予算執行状況のお知らせ
- 19 まつえナビ/松江市公式LINE友だち募集中！
- 20 子育て・健康・福祉
- 22 情報ひろば
- 29 でかけてごしない～イベント情報～

松江市長 上定 昭仁の

# 上を向いていこう

Vol.41



「カラコロ工房が  
にぎわっています！」

昨年4月から1年半の間、改修工事のため休館していたカラコロ工房が、10月にリニューアルオープンしました！

カラコロ工房は、昭和13年に建築された「日本銀行松江支店」を改築・増築して平成12年に開館しました。松江大橋を下駄で渡るときに聴こえる「カラコロン」という響きに、小泉八雲が心ひかれたというエピソードが、名前の由来になっています。

新たなカラコロ工房は、松江の「豊かな日常」が感じられる場となり、多くの市民のみならず、楽しんでいただいています。

1階のガーデンテラスには、山陰の食材を生かした、寿司、おでん、ピザ、ラーメン、ハンバーガー、カフェ、スイーツなど9つの飲食店が軒を連ね、夜23時までゆっくり過ごせるフードホールになっています。

本館の1階は、新鮮な野菜や魚介類など地元産品を買い求められる「マルシェ（市場）」がオープンし、イートインコーナーを備えるほか、生産



〈マルシェ〉



〈ものづくり体験フロア〉

者による実演販売も行います。本館の2階と3階は、お茶、和菓子、八雲塗、陶芸など、職人や工芸作家から直接松江の伝統文化を習い体感できる、ものづくり体験フロアです。「匠の技」を堪能できる「職人商店街」の拠点にしていきたいと思います。本館の地下には、金庫室を活用したお洒落なギャラリー空間を設け、地元で活躍する作家の作品展示を行います。本誌29ページに紹介しているとおり、12月7日からは、松江市出身で世界を舞台に活躍されている立体切り絵作家Soumaさんの展覧会を開催しますのでお見逃しなく！生まれ変わったカラコロ工房を、ぜひお訪ねください！

## まいぶんTIME

今年はお雲地方の大型古墳国史跡指定100年！ 市内の古墳について紹介します♪

みよぶん まる やま 1 ぼろぶん

## vol.21 名分丸山1号墳

鹿島町の名分丸山1号墳は全長40mの前方後方墳です。佐陀川北岸に位置し、西に日本海をのぞむ好所に所在します。発掘調査により2基の埋葬施設が確認され、古墳の形や出土した土器から古墳時代前期に築造されたことがわかりました。出雲地域では出現期の前方後方墳のひとつであり、出雲地方の古墳時代到来のカギとなる古墳です。



名分丸山古墳群

(島根県古代文化センター提供写真を一部加工)



出雲の大型古墳  
国の史跡指定  
100年

【問い合わせ】埋蔵文化財調査課 ☎55-5284



## 食べごろ松江

くまつえ旬もの食べてごせ

vol.5

### 出雲そば発祥の地松江の年越し



今年も年末が近づいてきました。年末といえば年越しそばですね。

年越しにそばを食べる理由は、「そば切りで一年の災厄を断ち切る」という意味を込めて、「そばが細く長いことから長寿を願って食べ始めた」「金銀細工の職人が金銀粉を集めるためにそば粉を練ったものを使ったことから、そばは金を集めるという縁起が始まった」など諸説あります。

出雲そばの本場の松江でも、職場で仕事納めに同僚と食べたり、家族で年越しに食べられ、来る年の弥栄を祈る人もたくさんいらっしゃいます。各製麺業者やおそば屋さんも大忙しの時期です。

近年の研究により、松江では江戸時代初期の1666年に、出雲大社遷宮協議の際そばを振舞った記録があり、古くよりそばを食べていたことが分かりました。栽培も一時はほぼ途絶えていました。



〈そば打ち〉



〈そばの花〉



〈松江松平そば〉

が、20数年前からそば処松江の本場の味を求めて、松江市やそばの生産者、松江そば組合、JA、松江商工会議所などと関係機関が一体となって栽培に取り組んでいます。近年では、「松江松平そば」と銘打ち松江の新しいそばの食べ方を提案しています。夏に種をまき秋には収穫されるそばは、高気温や害虫、雨や台風などの影響を受けやすいため、生産者の皆様には、近年の気象変動に苦慮しながらもおいしいそばの収穫に努力いただいています。

収穫直後で香りのよい新そばも美味しいのですが、そばの実が熟成して甘みやうま味が増すこの年末から節分の頃にそばを食べる風習はとても理にかなっています。昔の人は本当によく考えていたものなのです。

市民の皆様も、ぜひ松江産そばで打った年越しそばをお召し上がりください。

【この記事に関する問い合わせ】 松江そば文化ブランド化推進協議会（松江商工会議所内） ☎ 32-0505

## シリーズ「松江の匠」

市は長年にわたり地域産業の発展に貢献された技能者を表彰しています。

匠が一番最初に和菓子に興味を持ったのは、小学生の頃に行った和菓子の工場見学でした。その後、高校の食文化の授業で再び和菓子に触れる機会があり、改めて和菓子製作に魅力を感じ、彩雲堂への入社へと繋がりました。入社後は先輩から教わりながら実務経験を重ね、入社10年で一級製造菓子技能士の資格を取得しました。製造菓子技能士は、お菓子の製作技能を証明する資格であり、国が認定する技能士制度のひとつです。匠は、和菓子製作で経験を積む過程で、「初めはできなかった仕事を覚え、自分のものにして」「先輩が言いたかったことはこういうことか」と分かった時が一番嬉しい」と話していました。

今では、和菓子製造の心臓部である製餡部門の責任者として、後進の職人とともに、安定した品質の求肥と餡を完成させています。それらの製作では、気温や湿度などの影響で品質が変わってしまうため、できるだけ年間を通して均一になるように、その時々季節の移り変わりに注意しながら工夫を凝らしています。

この先、後進の職人への技術継承に力を入れていきたいとして、日々指導育成に励む匠。感覚だけではなく、自身も培ったノウハウをきちんと数値化し、丁寧かつ分かりやすく伝えていきます。

匠は、「自分がそうであったように、地道にコツコツ努力することが職人にとって一番大切だと感じている」と話します。これから、持ち前の真面目さを生かし、伝統ある松江の和菓子文化の価値や彩雲堂独自の味を後世に伝えていきます。



〈神庭さんが手掛けた工芸菓子「純」〉

令和五年度松江市手作り産業優良技能者表彰  
かんぼ 春樹 No. 5  
株式会社彩雲堂（天神町）  
（奨励賞 受賞）  
推薦団体：松江菓子協会



〈松江の匠 HP〉

【問い合わせ】ものづくり産業支援センター ☎ 60-7101

## 松江の皆さん こんにちは。



こ だ  
ふか 深田 るり子

1949年生まれ。松江南高校、松江赤十字高等看護学院卒。松江赤十字病院他勤務後、94年に上京し、東京都済生会高等看護学院専任教員として勤務。98年、品川区特別養護老人ホーム医務室長として勤務後、2020年1月に退職。



東京にご縁ができて上京しましたが、高齢化社会の真っただ中で必要とされる職種だったため、すぐに職に就くことができませんでした。とても珍しいケースですが、松江で独居だった私の母親も私の勤める特別養護老人ホームに入所でき、看取ることができました。

特別養護老人ホームでは医療的なかかわりが第一ですが、入所者それぞれの歴史に基づくその人らしさを見出し接していくことがとても大切でした。ちょうど入職と同時に三味線を習い始めたので、普段の日常生活援助に役立てることができました。入所者の故郷の民謡、新潟の人は佐渡おけさ、東京の人は東京音頭

や品川音頭、九州の人は九州炭鉱節、山梨の人は武田節など、それぞれのリクエストに応えると生き生きとした姿が見えました。ホームの夏祭り、敬老会など行事の時にはボランティアアメンパーとも出演。着物を着て三味線を構えるだけで「いいね！いいね！」の反応。地域の方々も毎年楽しみに参加されていました。

私の故郷の唄も上京後に勉強することになり、関の五本松、安来節、はては隣の鳥取県の貝殻節など習得しました。コロナ禍と私自身の病気により20年間継続していた三味線ボランティア活動も休止中でしたが、体調も復活し、再びお役に立てれば幸いです。

「東京松江会」への入会者を募集しています。関東地方在住の人をご紹介いただける人はご連絡ください。  
〒140-0001 品川区北品川1-1-16 第2小池ビル6階 樹さんびる内 東京松江会事務局  
☎090-1188-0776 (幹事長 境 真樹) ✉tokyomatsuekai@gmail.com 東京松江会ホームページ

## まちをよくする マイルレポート

## 地域を知って、地域で育つ

湖北白鳥学園 地域学校コーディネーター

ながの  
長野 あずさ

湖北白鳥学園は、湖北中学校と大野・秋鹿・古江小学校の4校からなる学園です。宍道湖北岸に広がるのどかな田園地帯に位置し、四季折々を五感で感じる

ことができる地域です。学園では毎年、中学生と地域の大人が一緒になって「リーダー研修」を行っています。中学生の生きる力を育み伸ばすことをめざして、中学生が地域の私たちと一緒に活動するイベントを企画しています。



〈ブルブル・ドキドキ大作戦の様子〉